

# ◆◆◆ 竹 ◆◆◆

## 竹柄種類



1. 晒竹（さらしだけ）



2. 図面竹（ずめんちく）



3. 胡麻竹（ごまだけ）

## <フレーム特徴>

- ◎素材…京都府指定「京銘竹」
- ◎職人によるハンドメイドフレーム。
- ◎バネ蝶番を使用。
- ◎コーティング・ニス等は一切使用していません。

産地：京都府

竹の種類：孟宗竹

特徴：1. 晒竹（さらしだけ）

9月～12月に伐竹された竹を火あぶりにより油を抜き天日で干し完全に乾燥させ、丁寧に磨きあげます。そうすることにより竹は伐竹されたときの青竹から写真のような色になり、美しい光沢を発するようになります。

2. 図面竹（ずめんちく）

筍が地上に顔を出してから柔らかい内に木枠に入れて四角の竹にした後、硫酸と砂などを混ぜた液を特殊なハケで棹につけます。すると、この溶液の作用で棹に模様がつき、写真のような模様がつきます。

3. 胡麻竹（ごまだけ）

竹の上部を切り取り、残った枝を全て枝打ちし半枯れ状態にすると、光合成による栄養分が作れなくなり、稈面全体にきれいな胡麻状の斑点が現れます。

※写真ではわかりにくいですが、竹は四角い「角竹」で4月下旬から5月上旬にかけて、20～40cmに成長した筍に四角の板枠（L状の型枠を2つあわせにしたもの）をし、成長に合わせて40cm間隔に縄で縛り、倒れないように三方から立竹から縄を張り支えます。

そうすることで竹は板枠の中で四角になりながら成長します。

※『京銘竹』とは京都府伝統的工芸品指定要綱（平成6年京都府告示第770号、第2条第1項および第2項）の規定により『京都府伝統工芸品』に指定された竹です。

## その他の竹



4. 亀甲竹（きっこうちく）



5. 竹の根

## <竹職人の木枠はめ込み作業及び図柄着け作業>



Roots inc.

<http://www.roots-web.jp>